

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	災害復旧土地改良補助事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	1 1 災害復旧費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 農林水産業施設災害復旧費
期間	平成25年度 ～ 平成25年度	目	0 1 農地及び農業用施設災害復旧費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 0 災害復旧土地改良補助事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市土地改良事業補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	近年、集中豪雨や地震等の災害により、老朽化した土地改良施設が被災し、地域住民の生命や財産、公共施設にも甚大な被害が頻発している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市内の土地改良区、水利組合、農業団体、町内会、農地所有者	集中豪雨や地震等の災害により、被災した農地及び農業用施設の復旧事業費の一部を補助するものである。土地改良施設の維持管理者、農地所有者より事業申請を受け、現地立会、事業内容、事業費の査定を行い、受理したものに対し事業の承認を行い、事業費の一部を補助金として交付する。補助率は、農業用施設の場合65%、農地の場合50%である。	事業費の一部を補助することにより、農業経営の合理化及び農業生産力の回復を図るとともに、地域の防災や環境の保全を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内水利組合等	集落			12		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
ため池復旧工事数	件			7		
水路復旧工事数	件			3		
農道復旧工事数	件			3		

活動指標分析結果	前年度の豪雨被害より被害が少なく、復旧工事数は減少している。			
事業費	千円			10,381

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
災害復旧土地改良補助事業実績件数	件				15	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値					15	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	前年度の豪雨被害より被害が少なく、事業実績件数は減少している。
----------	---------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了 評価年度において目的を達成しており、その効果は大きいと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	10,381	内訳	国費	県費	市債	他	一般	10,381
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	林地崩壊防止等対策事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	1 1 災害復旧費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 農林水産業施設災害復旧費
期間	平成23年度～平成26年度	目	0 2 林地災害復旧費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 0 林地崩壊防止等対策事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	災害対策基本法		

【現状と課題】

現状と課題	平成26年度内の事業完了を目指す。事業地における新たな土砂等流失の危険性をなくす。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
台風等で被災した事業地の復旧	県単独災害補助治山事業の採択を受け、被災地の復旧を行う。補助対象：被災民有林で復旧のための事業費が200万を超え7000万円までの被災地。補助率：補助対象事業経費の3分の2	被災し崩壊した山林を復旧し、新たな災害の危険性がないよう、谷止め工等の施工をしたうえで出来る限り元の状態にする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
被災地復旧箇所	箇所		8	0		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
県単独補助治山事業事業費	円		87,873,150	0		平成26年度
活動指標分析結果	平成25年度は、風等の豪雨による山地崩壊箇所に対する崩壊防止工事が完了した箇所はなかった。工事が必要な箇所については、平成26年度内の工事完了を目標とする。					
事業費	千円		87,874	872		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
県単独補助治山事業完了箇所	箇所		8	0	1	平成26年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	平成25年度は、風等の豪雨による山地崩壊箇所に対する崩壊防止工事が完了した箇所はなかった。工事が必要な箇所については、平成26年度内の工事完了を目標とする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成25年度は、風等の豪雨による山地崩壊箇所に対する崩壊防止工事が完了した箇所はなかった。工事が必要な箇所については、平成26年度内の工事完了を目標とする。

※事業費と財源内訳

決算額	872	内訳	国費	県費	市債	他	一般	872
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	農林水産業施設災害復旧事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	1 1 災害復旧費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 農林水産業施設災害復旧費
期間	平成25年度 ～ 平成25年度	目	0 1 農地及び農業用施設災害復旧費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 0 5 農林水産業施設災害復旧事業
地区別	志方地区		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	近年、集中豪雨や地震等の災害により、老朽化した土地改良施設が被災し、地域住民の生命や財産、公共施設にも甚大な被害が頻発している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
志方町行常 菖蒲池 受益者144戸 受益面積50.2ha、志方町原 原大池 受益者346戸、受益面積 57.9ha	志方町行常地区の菖蒲池、志方町原地区の原大池に対し、市営事業で災害復旧工事を行う。	被害を受けたため池の復旧を行うことにより、住民の生命と財産を守り、農業経営の安定を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
受益面積	ha			108.1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
堤体復旧工	式			1		
活動指標分析結果	平成25年度においては、市営事業により堤体復旧工事を実施した。					
事業費	千円			3,413		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
復旧率	%			100	100	平成25年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	平成25年度末の完了を目標として事業を実施し、計画通り完了している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	事業完了
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地がありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
評価年度において目的を達成しており、その効果は大きいと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	3,413	内訳	国費	県費	市債	2,200	他	一般	1,213
-----	-------	----	----	----	----	-------	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	交通安全施設維持補修事業（土木総務課）		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 3 6 交通安全施設維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	現在、市内には約4000基の道路反射鏡があり、経年により修繕が必要である。
-------	---------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
市内の道路に設置した交通安全施設（主に道路反射鏡）	交通安全施設（主に道路反射鏡）の更新・修繕を行う	一般交通の安全性を向上させる				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円			1,709		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
道路は日常生活を支える社会基盤として安全な通行ができる状態にしておくことが求められる。そのために交通安全施設を更新・修繕する必要があり、本事業を継続する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	1,709	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,709
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	防犯灯維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	昭和39年度～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 3 0 防犯灯事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市防犯灯の設置及び維持管理要綱		

【現状と課題】

現状と課題	都市化が進む中、夜間勤務者、長距離通勤者など夜間に通行する人や行動する人が増えており、それに伴い街頭犯罪の中でも「ひったくり」など夜間の街頭犯罪が増えている。また、電気料金の高騰などにより1灯あたりの維持管理費用が上昇している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
防犯灯	集落と集落を結ぶ幹線、通学路、通行上危険箇所、公共施設周辺を中心に、町内会からの要望により、必要のある公道等に設置され、市で管理している防犯灯の維持管理を行なう。				地域で発生する、夜間の街頭犯罪・侵入犯罪を防止する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		34,421	40,118		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
「ひったくり」などの夜間街頭犯罪が増加しており、夜間における道路の安全な通行を保つ必要がある。平成20年度市民意識調査において、夜間犯罪の抑制のためには、防犯灯が必要との回答が最も多く、本事業を継続する必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	40,118	内訳	国費	県費	市債	他	一般	40,118
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	防犯灯設置事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	昭和39年度～永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 3 0 防犯灯事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市防犯灯の設置及び維持管理要綱		

【現状と課題】

現状と課題	都市化が進む中、夜間勤務者、長距離通勤者など夜間に通行する人や行動する人が増えており、それに伴い、街頭犯罪の中でも「ひったくり」など夜間の街頭犯罪が増えている。また設置要望箇所は電柱がないなど、設置が困難な箇所が多いため、1灯あたりの工事費が上昇している。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
防犯灯	集落と集落を結ぶ幹線、通学路、通行上危険箇所、公共施設周辺を中心に、町内会からの要望により、必要のある公道等に防犯灯を設置する。				地域で発生する、夜間の街頭犯罪・侵入犯罪を防止する。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
防犯灯設置総数	灯	17,813	17,914	18,038		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
防犯灯年間設置灯数	灯	114	101	108	1,000	平成34年度
活動指標分析結果	平成19年に発生した別府事件時にはピークであった防犯灯設置件数は、現在は事件前の水準に落ち着いているが、町内会からの要望数は続いている。また設置要望箇所は電柱がないなど、これまで設置が困難であった箇所が多いため、1灯あたりの工事費が上昇している。					
事業費	千円	5,789	5,553	5,859		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
街頭犯罪・侵入犯罪認知件数(加古川市・年末)	件				5,200	平成27年度
		3,110	3,267	5,291		
成果指標分析結果	刑法犯罪は増加しており、「ひったくり」など夜間の街頭犯罪も増加している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
「ひったくり」などの夜間街頭犯罪が増加しており、夜間における道路の安全な通行を保つ必要がある。また平成20年度市民意識調査において、夜間犯罪抑制のためには防犯灯が必要との回答が最も多く、防犯灯設置要望は減少していないため、本事業の継続が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	5,859	内訳	国費	県費	市債	他	3,500	一般	2,359
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	交通安全施設整備事業（土木総務課）		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 3 6 交通安全施設維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	交通事故は横ばい傾向であるが、まだまだ多数の事故が発生しており、交通安全対策が必要である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）				
市内の道路に道路安全施設（主に道路反射鏡）	市内の道路に道路安全施設（主に道路反射鏡）を整備する	一般通行の安全性を向上させる				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
交通人身事故発生件数		件			1,970	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
道路反射鏡新規設置数		基			47	0
活動指標分析結果	交通安全の確保のうえで、地元町内会からも要望に基づき、新規設置を行った。					
事業費		千円			4,050	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値
道路反射鏡設置数		基				4,000
上段:計画値/下段:実績値					3,900	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	交通安全に寄与している。					

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
道路は日常生活を支える社会基盤として安全な通行ができる状態にしておくことが求められる。そのために交通安全施設を整備する必要があり、本事業を継続する必要がある。	

※事業費と財源内訳

決算額	4,050	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,050
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	交通安全施設維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 3 5 交通安全施設維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、市民からの通報や職員による道路パトロールにより現地調査をし、補修工事を行っている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内の道路 (市道、里道、生活道路)	交通安全施設の修繕、維持にかかる光熱費の支払いを行う。	一般通行に支障がないようにする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		18,831	17,205		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
道路は日常生活を支える社会基盤であり、常に安全で良好な状態を保つ必要があることと、道路管理に関する要望件数は今後も多いと考えられるため、本事業を継続していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	17,205	内訳	国費	県費	市債	他	一般	17,205
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	通学路緊急対策事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 3 5 交通安全施設維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	小学校や警察と協議をして、通学路路肩カラー化工事を実施している。
-------	----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市内の通学路	交通安全総点検等により、危険箇所を改善する。	少子化が進む中、次代を担う子供達のかけがえのない命を社会全体で交通事故から守る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市内通学路道路延長	k m			140		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
通学路路肩カラー化工事延長	k m			16.4		

活動指標分析結果	平成25年度は通学路路肩カラー化工事を16.4km施工した。			
事業費	千円			37,072

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
通学路路肩カラー化工事整備率	%				100	平成25年度
上段:計画値/下段:実績値					100	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	平成25年度は予定していた区間を全て施工した。
----------	-------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
予算の適切な執行により、事業の推進を図れた。

※事業費と財源内訳

決算額	37,072	内訳	国費	20,350	県費		市債	14,900	他		一般	1,822
-----	--------	----	----	--------	----	--	----	--------	---	--	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	交通安全施設整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	道路保全課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 2 道路橋梁費
期間	～ 永年	目	0 2 道路橋梁維持費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 3 5 交通安全施設維持整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	管理道路が増加する中、市民から要望や道路パトロールにより現地調査をし、安全施設の整備を行っている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市内の道路 (市道、里道、生活道路)	交通安全施設の整備を行う。	一般通行に支障がないようにする。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市市道総延長	k m		1,059.3	1,068		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
交通安全施設の整備数	件		12	14		

活動指標分析結果	平成25年度は、交通安全施設の整備を14件行った。				
事業費	千円		27,600	16,900	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
交通安全施設の整備率	%		100	100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	平成25年度予定していた整備件数を全て施工した。
----------	--------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事业
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 道路は日常生活を支える社会基盤であり、常に安全で良好な状態を保つ必要があることと、道路管理に関する要望件数は今後も多いと考えられるため、本事業を継続していく必要がある。
--

※事業費と財源内訳

決算額	16,900	内訳	国費	県費	市債	他	6,900	一般	10,000
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	一般排水路整備事業に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	～ 永年	目	0 7 水路費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 1 5 一般排水路整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量に雨水が排水路へ流れ込むため新たな浸水区域を発生させている。市内全域にある排水路は、雨水排水施設としても重要な施設であり、近年の豪雨対策としても期待されている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
一般排水路整備事業	一般排水路事業のための印刷等	円滑な事業を実施				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,194	320		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
一般排水路事業を行うために必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	320	内訳	国費	県費	市債	他	一般	320
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	河川整備事業に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 3 河川費
期間	～ 永年	目	0 1 河川管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 1 5 河川整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量の雨水が河川に流れ込み新たな浸水区域を生じている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
河川整備事業	河川整備事業に係る研修への参加等事務に要する経費の支出を行う。	技術の向上、効率的な河川整備事業を推進する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		260	251		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
研修への積極的な参加により技術の向上や全国的な治水事業の動向が把握でき、効率的な整備を進めることができる。

※事業費と財源内訳

決算額	251	内訳	国費	県費	市債	他	一般	251
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	河川管理に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 3 河川費
期間	～ 永年	目	0 1 河川管理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 河川管理に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量の雨水が河川に流れ込み新たな浸水区域を生じている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
国・県の管理する河川	河川管理者である国・県に対して、関係する市町で組織する各種協会・期成同盟会を通して整備の必要性を訴え、河川整備の促進を図る。	治水対策の早期実現。効率的な河川管理事業の推進。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		713	692		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
治水対策の早期実現を図るためにも治水対策促進会、各種協会及び同盟会等に参加し国・県への要望活動実施することは有効である。

※事業費と財源内訳

決算額	692	内訳	国費	県費	市債	他	一般	692
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水路事業に要する一般的経費		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	～ 永年	目	0 7 水路費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	0 0 5 水路事業に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量に雨水が排水路へ流れ込むため新たな浸水区域を発生させている。市内全域にある排水路は、雨水排水施設としても重要な施設であり、近年の豪雨対策としても期待されている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
水路維持補修事業	水路事業に係る研修への参加等を行う。	技術の向上、効率的な水路事業を推進する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		28	23		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
研修への積極的な参加により技術の向上や全国的な治水事業の動向が把握でき、効率的な整備を進めることができる。

※事業費と財源内訳

決算額	23	内訳	国費	県費	市債	他	一般	23
-----	----	----	----	----	----	---	----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	河川維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 3 河川費
期間	～ 永年	目	0 1 河川管理費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 0 河川維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	河川法		

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量の雨水が河川に流れ込み新たな浸水区域を生じている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市民(市管理河川流域住民)	河川における施設の管理や河川内に投棄された粗大ゴミの撤去、除草委託などを行う。	河川の円滑な流下を確保するとともに、高潮、洪水時における氾濫による浸水を防ぐ。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		23,346	24,184		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市管理河川の機能、安全性を確保するためにも必要な事業である。

※事業費と財源内訳

決算額	24,184	内訳	国費	県費	13,561	市債	他	一般	10,623
-----	--------	----	----	----	--------	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	水路維持補修事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	～ 永年	目	0 7 水路費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 0 水路維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量に雨水が排水路へ流れ込むため新たな浸水区域を発生させている。市内全域にある排水路は、雨水排水施設としても重要な施設であり、近年の豪雨対策としても期待されている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市管理水路及び排水管等	水路施設の修繕及び堆積物の除去等の浚渫を行う。	流下機能を確保し、氾濫による災害の防止を行う。また、下水道の未整備箇所における環境保全を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		9,502	10,067		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
近年の集中豪雨による浸水被害の軽減を行うため、浚渫などによる堆積物の除去が必要であり、環境保全にも貢献する。

※事業費と財源内訳

決算額	10,067	内訳	国費	県費	市債	他	一般	10,067
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	治水対策促進会補助事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 3 河川費
期間	～ 永年	目	0 1 河川管理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 0 5 河川管理に要する一般的経費
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量の雨水が河川に流れ込み新たな浸水区域を生じている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
国・県の管理する河川	加古川市治水対策促進会に対する補助を行う。	地域と連携した治水対策の推進を図る。各町内会等の要望を反映し国・県へ要望する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
治水対策促進会	件		1	1		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
治水対策事業要望数	件数		8	8	8	
活動指標分析結果	地域の意見、要望を取り入れた要望件数になっている。					
事業費	千円		400	400		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
治水対策要望実現率	%			100	100	平成27年度
	上段:計画値/下段:実績値		100	100		
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	国、県は要望を反映した事業に着手しており、促進会としての目標は達成できている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
地域と連携し国、県への要望活動を実施することは治水対策の早期実現に有効である。

※事業費と財源内訳

決算額	400	内訳	国費	県費	市債	他	一般	400
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	一般排水路整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	～ 永年	目	0 7 水路費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 5 一般排水路整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量に雨水が排水路へ流れ込むため新たな浸水区域を発生させている。市内全域にある排水路は、雨水排水施設としても重要な施設であり、近年の豪雨対策としても期待されている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)
市民 (浸水被害区域内住民)	排水路の整備及び改修	浸水被害の軽減

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
排水路修繕要望件数	件		35	35		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
排水路修繕件数	件		35	35		平成27年度

活動指標分析結果	要望箇所において浸水被害のあった地区を優先的に整備することで浸水範囲は減少している。			
事業費	千円		35,183	73,970

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
修繕率 (修繕件数/要望数)	%			40	100	平成27年度
			100	35		

成果指標分析結果	要望箇所における事業がなされている。
----------	--------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
下水道計画による雨水整備と連携し、市内の浸水被害の軽減に効果を発揮している。

※事業費と財源内訳

決算額	73,970	内訳	国費	県費	2,530	市債	他	一般	71,440
-----	--------	----	----	----	-------	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	河川整備事業		
部局名	建設部	課(室)名	治水対策課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 3 河川費
期間	～ 永年	目	0 1 河川管理費
事業区分	⑦投資事業	細目	0 1 5 河川整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	河川法		

【現状と課題】

現状と課題	市街化が進み農地面積の減少傾向に伴い保水機能の低下が進む中、近年の集中豪雨等により大量の雨水が河川に流れ込み新たな浸水区域を生じている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市管理河川流域の住民	計画的な河川整備を行う。	河川氾濫による災害発生の防止。床上、床下浸水の解消を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
河川整備延長	m		1,517	1,542		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
河川整備率	%		60.8	61.8	100	平成34年度
活動指標分析結果	河川未整備区間の整備を進めることで、河川氾濫等災害を未然に防止している。					
事業費	千円		14,466	12,891		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
河川整備率 (年度毎)	%			0.8	100	平成34年度
	上段:計画値/下段:実績値		0	100		
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	下流域からの整備が必須であることから、準用河川水田川においては下流域の事業(県)の整備状況により着手時期決定する必要がある、現状では指標は伸びない。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
近年の集中豪雨に対応するために未整備区間の早期整備、流下能力確保等、事業を推進する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	12,891	内訳	国費	県費	市債	他	一般	12,891
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	宅地耐震化推進事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	開発指導課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	平成24年度～永年	目	1 3 開発建築指導費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	0 3 5 宅地耐震化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	宅地造成等規制法、大規模盛土造成地の変動予測調査ガイドライン		

【現状と課題】

現状と課題	平成24年4月、国土交通省により宅地耐震化推進事業に必要な調査手法を示した「変動予測調査ガイドライン」の改正及び滑動崩落防止対策計画策定の参考となる「宅地耐震対策工法選定ガイドライン」が策定され、全国的に宅地耐震化推進事業が取り組まれ始めた。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内全域の宅地	市内全域における大規模盛土造成地を抽出し、危険度評価等を行ったうえで分布状況を把握・公表する。次に必要箇所における第二次調査を実施し、その判定結果に応じて造成宅地防災区域の指定、勧告、滑動崩落防止工事の実施を行う。	大規模な地震時における盛土造成宅地の崩落による被害から市民の生命と財産を守るために、危険な可能性のある大規模盛土造成宅地を把握・公表するとともに、造成宅地防災区域が指定されることにより市民の災害に対する意識の強化を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
市内全域	ha		138.51	138.51		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
大規模盛土造成地抽出	%		50	100	100	
分布状況マップ作成	%		0	0	100	平成26年度
活動指標分析結果	平成24年度は市内全域における盛土造成地を抽出し、規模・分布状況を概ね把握できた。平成25年度は抽出箇所の精査を行い、大規模盛土造成地の正確な分布状況を把握した。					
事業費	千円		2,189	1,917		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
分布状況マップ公表	%		0	0	100	平成26年度
成果指標分析結果	平成26年度に成果指標を分析する予定。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 東南海地震等の発生が予想される中、宅地耐震化を推進するため、市が市内全域の大規模盛土造成地を調査し分布状況を把握・公表することは必要と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	1,917	内訳	国費	600	県費		市債		他		一般	1,317
-----	-------	----	----	-----	----	--	----	--	---	--	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	簡易耐震診断等推進事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	建築指導課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 2 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	0 8 土木費
施策	0 1 防災・防犯のための基盤を整備する	項	0 5 都市計画費
期間	平成17年度～平成27年度	目	1 3 開発建築指導費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	0 2 0 耐震改修促進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律 加古川市耐震改修促進計画		

【現状と課題】

現状と課題	住宅の耐震化率を平成18年の約70%から平成27年の90%を目標としているが、平成25年度約80%であり、実施数を伸ばすための取組が必要である。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川市内に存する建築物で、昭和56年5月31日以前(旧耐震基準)に着工された住宅の所有者、及び住宅に関して不安を持っている所有者。	【啓発】出前講座・住宅相談会の実施、啓発チラシの市内全戸回覧【簡易診断事業】国：50%、県：22.5%の補助金を活用し、住宅の安全性を把握し、安全性に劣る住宅の改修工事の促進につなげる。	平成27年度に住宅の耐震化率を90%(耐震改修8700戸)の状態にする。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内住宅の耐震化率	%	77	78	80		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
住宅相談・出前講座申し込み件数	件	19	10	4	34	平成27年度
広報掲載回数	回	12	12	12	12	平成27年度
チラシ全戸回覧実施回数	回	1	1	2	1	平成27年度
活動指標分析結果	出前講座、町内会向け2回、公民館等2回、フォーラム1回開催。広報掲載12回、チラシ回覧1回、フォーラムチラシ全戸配布1回実施。					
事業費	千円	986	1,763	2,502		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
簡易耐震診断実施件数	棟		100	100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		23	55	64		
住宅相談・出前講座等参加者数	人		248	224	248	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		312	354	254		
簡易耐震診断事業執行率(単年度)	%			100	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			56	78		
成果指標分析結果	簡易耐震診断実施件数も前年度を上回っていることから、個人1割負担を無料化した効果と思われる。ただし住宅相談にあっては、市の窓口対応及び現場調査等で解決しているため、住宅相談件数減も理解できる数値と考えられる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	意図を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正でなく、受益者負担を導入すべきである

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 当該事業とは別途で命を守る施策の検討が必要であるが、本事業は継続すべきと考える。
--

※事業費と財源内訳

決算額	2,502	内訳	国費	1,250	県費	526	市債		他		一般	726
-----	-------	----	----	-------	----	-----	----	--	---	--	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	住宅耐震改修促進助成事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	建築指導課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する	款	08 土木費
施策	01 防災・防犯のための基盤を整備する	項	05 都市計画費
期間	平成24年度～平成27年度	目	13 開発建築指導費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	020 耐震改修促進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、加古川市耐震改修促進計画		

【現状と課題】

現状と課題	住宅の耐震化率を平成18年の約70%から平成27年の90%を目標としているが、平成25年度で約80%であり、実施を伸ばす取り組みが必要である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
加古川市内に存する建築物で、昭和56年5月31日以前(旧耐震基準)に着工された住宅で、耐震診断の結果耐震性が低いとされた住宅の所有者	所有者に対し出前講座・住宅相談会の実施、啓発チラシの市内全戸回覧にて、耐震改修の必要性および改修の補助制度をPRする。【住宅耐震改修促進助成事業補助金】対象となる工事費の1/4以内かつ上限30万円のうち、国：1/2、市：1/2	平成27年度に住宅の耐震化率を90%(耐震改修8700戸)の状態にするため、所有者が耐震改修工事を実施する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内住宅の耐震化率	%		78	80		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
住宅相談・出前講座申し込み件数	件		2	4	136	平成27年度
広報掲載回数	回		12	12	48	平成27年度
チラシ全戸回覧実施回数	回		2	2	4	平成27年度
活動指標分析結果	出前講座、町内会向け2回、公民館等2回、フォーラム開催1回実施。広報掲載12回、チラシ回覧1回、フォーラムチラシ全戸配布1回実施。					
事業費	千円	2,955	2,990	2,955		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
住宅耐震改修実施件数	戸		10	20	80	平成27年度
住宅耐震改修助成金額	千円		2,990	6,000	24,000	平成27年度
成果指標分析結果	平成24年度からの上乗せ補助事業で有るが、25年度は10件と前年同数であった。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
兵庫県わが家の耐震改修促進事業と相まって、本上乗せ事業を継続すべきと考える。

※事業費と財源内訳

決算額	2,955	内訳	国費	1,477	県費		市債		他		一般	1,478
-----	-------	----	----	-------	----	--	----	--	---	--	----	-------